

各委員会の所管事務調査報告・議員派遣結果報告

総務産業建設常任委員会

移住、定住対策について

視察先

長野県御代田町

御代田町は、昭和31年に3村が合併し、昭和32年に6集落が分断して人口が一時減少したが、昭和35年から平成27年まで一度も人口が減少したことがありません。当時約8000人だった人口は、1万5000人以上へと増加を続けています。空き家については、実態調査報告書の作成、宅建、不動産協会と協定しており又、移住ツアーや移住相談、SNSによる情報発信等に取り組んでいきます。



文教厚生常任委員会

子育て支援対策について

視察先

長野県阿智村

阿智村子育て世代包括支援センター「あちっ子プラザ」は、妊娠、出産、子育てのライフステージにおいて、保健・医療・福祉・教育の各機関が一体となった支援の拠点となるような施設として保健センターを改修して整備したということです。

ときがわ町でも各種の子育て支援策については、積極的に実施しているが、所管する町民課、福祉課は本庁舎、教育総務課は第二庁舎に分散しているなど一元化していない。

そこで、担当窓口の一本化、妊娠、出産、子育ての各機関が一体となった支援拠点を一ヶ所に集約することを提案します。



議員派遣結果報告

埼玉県町村議会議長会主催議員研修会

令和元年10月17日(木)、フレサよしみに於いて埼玉県町村議会議長会主催の議員研修会が開催され、いすみ鉄道株式会社元代表取締役社長 鳥塚亮氏の講演を拝聴しました。

講師は、廃線の危機にあった千葉県の第三セクターのローカル路線「いすみ鉄道」の社長公募に応募して採用され、「ムーン列車の運行」「物販の拡充」などの営業努力で収支を改善し、いすみ鉄道の存続に道筋をつけた方です。

何もないところに「需要を創生」する手法について、実践してきた数々のアイデアを聞き、地方再生のヒントを学びました。

また、土地を守り続けてきた地元の方の思いをしっかりと評価し、恩恵を与えられるような仕組みを作り、地元の方が誇りに思うようになったところが地域活性化のスタートとなる、との言葉に深い感銘を受けました。



編集後記

昨年10月の台風19号による被害は甚大で、一時孤立した世帯や床上・床下浸水、また道路の崩落を含む土砂災害などたくさんの方の被害が発生しました。被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

12月議会は、災害関連の専決を含む補正予算などが議決され、仮設工事から本格的な復旧工事に取り組むことになりました。

11月12日には議会報告会を開催し、35名の方に参加していただき、貴重な意見を伺うことができました。次回の議会報から編集委員が交代します。二年間にわたりありがとうございました。

議会報編集特別委員会

委員長 田中 紀吉
副委員長 野原 和夫

長島 金作
神山 俊
小島 利枝
小宮 正

この議会だよりは、議員の自主編集で発行しています。

防災行政無線テレホンサービス (無料)
Tel 080-0800-8432 (携帯電話からも可)

